

エスロン[®] 耐火VPパイプ、エスロン[®] 耐火DV継手が

NETIS (新技術情報提供システム) に登録されました。

新技術名称: 建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手

登録番号: KK-170017-A

これまで以上に公共物件の
衛生設備工事に
施工省力化で貢献します。



信頼と実績の **エスロン** 耐火VPパイプ

耐火VPパイプ+耐火DV継手の配管例



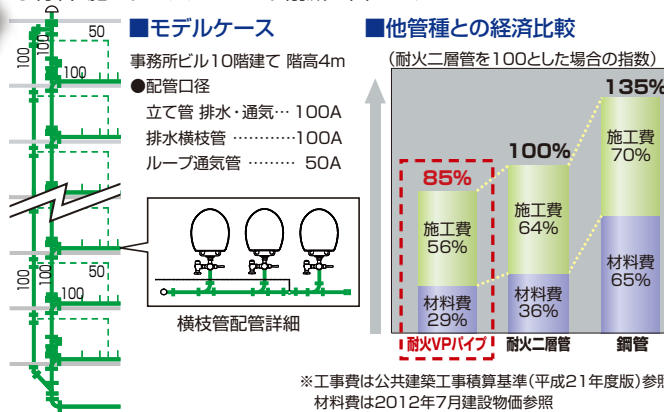
特長

- 軽量コンパクト** ●耐火VPパイプは、従来品の半分以上の重さです。
- 易施工** ●耐火二層管と比べて、切断作業、取り扱い性に優れます。
●特別な貫通処理を施すことなく、管・継手をモルタルで埋め戻すだけで、防火区画貫通が可能です。
- 耐食性** ●排水で実績のある塩ビ素材であり、サビは発生しません。



メリット

- 安全安心** ●サビが発生せず、耐久性に優れます。
●床下空間での横枝管の勾配確保も容易で、信頼性の高い排水管路が実現します。
- 快適** ●軽量・コンパクト、易施工により、工期短縮、確実施工が図れます。
●切断粉塵なども少なく、清潔な作業環境が実現します。
- コスト削減** ●材料、施工トータルでコスト削減が図れます。



※工事費は公共建築工事積算基準(平成21年度版)参照
材料費は2012年7月建設物価参照

NETISとは

(新技術情報提供システム)
~New Technology Information System~

国土交通省が運用している新技術に係る情報を、共有及び提供するためのデータベースです。平成10年度より運用を開始し、平成13年度よりインターネットで一般にも公開。有用な新技術の情報を誰でも容易に入手することが可能です。

公共工事等における新技術活用システム



Point 1 民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用していくためのシステムです。

Point 2 新技術情報提供システム(NETIS)を中核とする新技術情報の収集と共有化、直轄工事等での活用導入の手続き、効果の検証・評価、さらなる改良と技術開発という一連の流れを体系化したものです。

新技術の峻別による有用な新技術の活用促進と技術のスパイラルアップを目的として、事後評価に重点をおいた『公共工事等における新技術活用システム』として本格運用しています。

さいたま新都心医療拠点整備事業「埼玉県小児医療センター」

2015年 埼玉県病院局の設備工事監理で担当者様よりお声をいただきました。



エスロン耐火VPパイプ配管システム採用の経緯

(設備工事ご担当者様)

東京五輪の影響による資材高騰や人手不足が、工事を行う上で問題となっており如何に省力化できるかをゼネコンや施工者の方々と協議を何回も繰り返しました。そこで、通常の塩ビ管と同等の施工で、耐火機能を確保できる耐火VPを検討し、また、いろいろな数値データを考慮した結果、耐火VPの材質なら今回は保温も必要ないだろうということで、その点でも省力化を図っています。また

以前に診察室などに用いた鉄系配管では数年で漏水してしまったという事例も伺っており、如何に長寿命の配管を採用するかと施工品質の確実性も考えました。耐火VPは既に県営住宅などにも採用していましたので、今までの実績も考慮に入れた結果、ゼネコンから提案された耐火VPパイプの採用を承諾しました。



採用決定のポイント

①施工省力化

- ▶ 特別な区画貫通処理が不要
- ▶ 通常塩ビ管と同様の施工
- ▶ 保温の省略化

※使用条件により省略できない場合もありますので別途ご相談ください

②長寿命化

- ▶ 鉄系配管での漏水経験
- ▶ 樹脂管の耐食性への信頼

施工者へのメリット

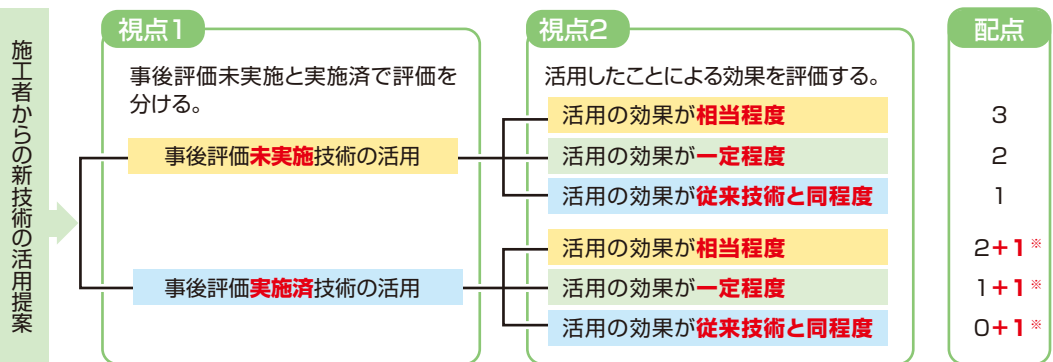
新技術を活用すると、その効果に応じて工事成績評定での加点の対象となります。

工事成績評定への加点について

※平成25年4月現在

主任技術評価官で最大3点の加算
よって、実加点は
3×40%=最大1.2点
となります。

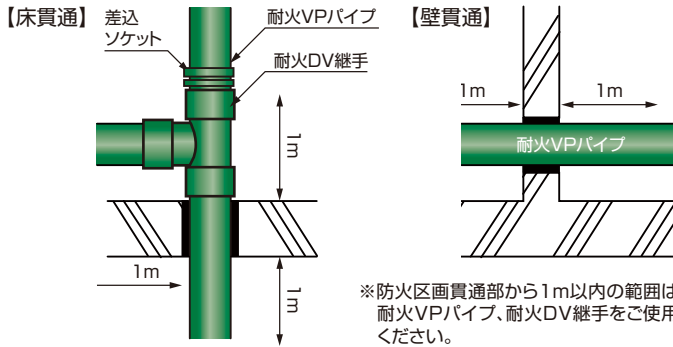
★配点は、提案を行った地方整備局等によって異なりますので、詳細については地方整備局等の申請・相談窓口までお問い合わせください。



※「有用とされる技術」を用いた場合は+1点

国土交通大臣認定／(一財)日本消防設備安全センター性能評定

耐火VPパイプ・耐火DV継手 認定・評定範囲



※防火区画貫通部から1m以内の範囲は耐火VPパイプ、耐火DV継手をご使用ください。

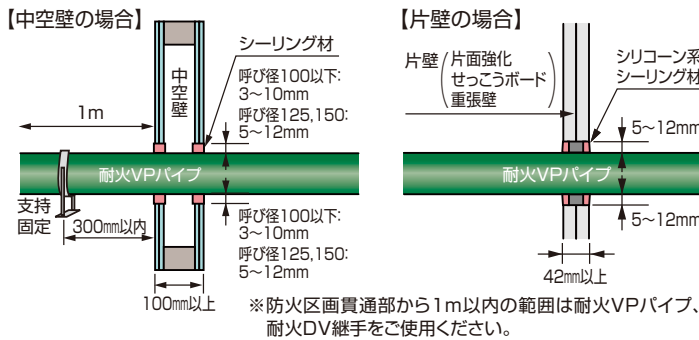
認定・評定番号

		国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
			共住区画	令8区画
床	呼び径125以下	PS 060FL-0376	KK19-146	RK19-041
	呼び径150	PS 060FL-0798	KK27-012	RK27-007
壁	呼び径100以下	PS 060WL-0374	KK19-147	RK19-042
	呼び径125、150	PS 060WL-0799	KK27-013	RK27-008

認定・評定範囲

適用場所	国土交通大臣認定	床貫通	ALC・コンクリート厚み100mm以上	
		壁貫通	ALC・コンクリート厚み75mm以上	
	消防評定	共住区画	床貫通	ALC・コンクリート厚み100mm以上
		令8区画	壁貫通	ALC・コンクリート厚み75mm以上
貫通部の配管	床貫通	呼び径125以下	管または管+継手	
		呼び径150	管のみ	
	壁貫通		管のみ	
用途	排水管および通気管			
使用できる配管	床	エスロン耐火VPパイプ・耐火DV継手 呼び径150以下		
	壁	エスロン耐火VPパイプ・耐火DV継手 呼び径150以下		
スリーブ径	床	呼び径125以下	管または管+継手 φ209mm以下	
		呼び径150	管のみ φ260mm以下	
	壁	呼び径100以下	管のみ φ183mm以下	
		呼び径125、150	管のみ φ260mm以下	
貫通部処理	モルタル埋戻し			

耐火VPパイプ中空壁用・片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁用 認定・評定範囲



※防火区画貫通部から1m以内の範囲は耐火VPパイプ、耐火DV継手をご使用ください。

認定・評定番号

		国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号
			共住区画
中空壁用	呼び径100以下	PS060WL-0426	KK20-014号
	呼び径125、150	PS060WL-0929	—
片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁用	呼び径150以下	PS060WL-0849	—

中空壁用の認定・評定範囲

適用場所	国土交通大臣認定	呼び径150以下	国土交通大臣が認定した準耐火構造(60分)及び耐火構造(60分)の中空壁厚み100mm以上
	消防評定(共住区画)	呼び径100以下	共住区画 耐火構造(60分)の中空壁厚み100mm以上
用途	排水管および通気管		
使用できる配管	国土交通大臣認定	エスロン耐火VPパイプ呼び径150以下	
	消防評定(共住区画)	エスロン耐火VPパイプ呼び径100以下	
壁開口部寸法	呼び径100以下	φ134mm以下(隙間3~10mm)	
	呼び径125、150	φ189mm以下(隙間5~12mm)	
壁貫通部処理	呼び径100以下	シリコーン系または変成シリコーン系シーリング材	
	呼び径125、150	シリコーン系シーリング材	

片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁用の認定範囲

適用場所	国土交通大臣認定	国土交通大臣が認定した耐火構造(60分)の片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁
用途	排水管および通気管	
使用できる配管	エスロン耐火VPパイプ呼び径150以下	
壁開口部寸法	φ189mm以下(隙間5~12mm)	
壁貫通部処理	シリコーン系シーリング材	

⚠️注意 設計上の注意事項

- 防火区画貫通部から1m以内の範囲では、耐火VPパイプと耐火DV継手を組み合わせてご使用ください。また、1m以内で他の認定評定品と接続する場合には、所轄の消防機関までご確認ください。
- 換気ダクト類用途には使用できません。
- 必ず認定書および評定書の内容をご確認ください。
- 防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

塩ビ管・継手のリサイクルについて

- リサイクル対象** 耐火VPパイプ・耐火DV継手製品は、塩化ビニル管・継手協会のリサイクル対象製品です。
- 問い合わせ先** 廃材の持ち込み先、持ち込み基準、硬質ポリ塩ビ管・継手のリサイクルの詳細につきましては、塩化ビニル管・継手協会へお問合せください。
- 塩化ビニル管・継手協会**
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル TEL.03-3470-2251

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店
設備システム営業所 022(217)0608

東日本支店 建築営業部
東京設備システム営業所 03(5521)0641
関東設備システム営業所 048(646)0160
横浜営業所 045(474)1810
静岡営業所 054(275)0720
甲信営業所 0263(38)1220
東関東営業所 04(7130)0010

中部支店
設備システム営業所 052(307)6806

西日本支店
近畿設備システム営業所 06(6365)4503
中国設備システム営業所 082(224)6251
北陸営業所 076(231)4245
京滋営業所 075(662)3418
四国営業所 0897(57)9125

九州支店
設備システム営業所 092(271)1314

積水化学北海道(株)
建築・ストック営業部 011(737)6330

お客様相談室
【東京】03(5521)0505 【大阪】06(6365)4133

エスロンタイムズ on the Web
<http://www.eslontimes.com>



耐火VPパイプの
製品情報はコチラ!

*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2017年 8月 初 版
2017年 9月 改訂1版

エスロン耐火VPパイプ
NETIS登録告知パンフレット

積水化学工業株式会社
建築システム事業部

ツールコード

No. 05168

2017.9. 3TH TX